

環境経営
レポート
2022



《2022年度 環境経営レポート 2023年6月30日 発行》

	ページ
目次	2
環境経営方針	3
会社及び事業概要	4-5
環境経営システム組織図	6
環境経営目標とその実績	7-8
環境経営活動計画の取組結果とその評価,環境関連法規遵守状況	9-15
次年度の取組内容	16
総評	17
代表者による全体評価と見直し・指示	18



経営理念

情熱・信念・和で業を磨き、人材と製品づくりを通して社会に貢献します。

情熱と信念で誇れる製品を作ろう (クレームゼロをめざす!!)

品質方針

私たちは「顧客のニーズ及び期待」の向上の為、優れた技術力と人材で「お客様に信頼される品質確保」を目指し、確かな製品を提供します。

又、品質マネジメントシステムの有効性を、継続的に改善して競争力のある強い企業を目指します。



環境経営方針 基本理念

私たちは、社会の一員として、産業界への貢献を目指し、
人材と製品づくりを通して自主的かつ積極的に
環境保全活動に努め、環境経営の継続的改善に取り組み、
省資源、省エネの推進をし、
お客様から信頼される企業を目指します。

大阪金属株式会社
代表取締役 津田 岳彦

行動指針

具体的に次のことを誓約します。

1. 環境関連法規の遵守
2. 電力及び燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
3. 原材料の節減、3R(減量・再使用・再生利用)の推進による廃棄物の削減
4. 水資源の節減
5. 化学物質使用量の管理、削減
6. 当社の製品及びサービスにおける、環境に配慮した
生産・活動の積極的取組
7. 全社員の環境学習の推進
8. 緑化活動による生物多様性への貢献
9. 「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加し、取り組む

この環境方針は、社外へも公表します。

制定日：2008年9月26日

改定日：2022年11月8日

代表取締役 津田 岳彦



1 事業者名及び代表者名

大阪金属株式会社
代表取締役 津田 岳彦



2 所在地

本 社
大阪府高石市高砂3丁目30番地



鋳物生産工場 併設

和泉工場
大阪府和泉市テクノステージ1丁目3番5号



海外調達品の受入・検査
出荷センター

朋友金属(株)
大阪府和泉市春木町68番地



金属加工工場 併設

和泉第2工場
大阪府和泉市テクノステージ3丁目5番17号



倉庫

朋友金属(株) 河内長野出張所
大阪府河内長野市小塩町263

筑波出張所
茨城県つくばみらい市坂野新田1-5 第2センター内

朋友金属(株) 第二工場 * 2023年3月31日閉鎖

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

本 社 :	管理責任者	総務部部長	藤岡 直樹	TEL : 072-268-0151
	推進委員	総務部課長	佐久間 智恵	TEL : 072-268-0151
	推進委員	製造部係長	河口 敬佑	TEL : 072-268-0151
和泉工場 :	推進委員		川本 雅幸	TEL : 0725-53-5050
朋友金属 :	推進委員		住本 薫	TEL : 0725-53-3991

4 事業内容 (認証・登録の範囲)

全組織・全活動
各種鋳物製品の開発・設計・製造・加工及び販売

5 事業の規模 (2022年度)

- ・売上高 (2022年度実績) 本社: 47,883万円 和泉工場: 253,575万円 朋友金属: 241,056万円
 - ・本社工場生産量 月産200トン (能力規模)
 - ・従業員 69名 (内数: 本社 20名, 和泉工場 14名, 朋友金属(株) 35名)
 - ・建屋規模 (床面積)
- | | |
|--------------|----------------------|
| 本社・本社工場 | 1,094 m ² |
| 和泉工場 | 970 m ² |
| 和泉第2工場 | 1,113 m ² |
| 筑波出張所 | 992 m ³ |
| 朋友金属 | 1,719 m ² |
| 朋友金属・第二工場 | 661 m ² |
| 朋友金属・河内長野出張所 | 662 m ² |

6 事業年度

4月～3月

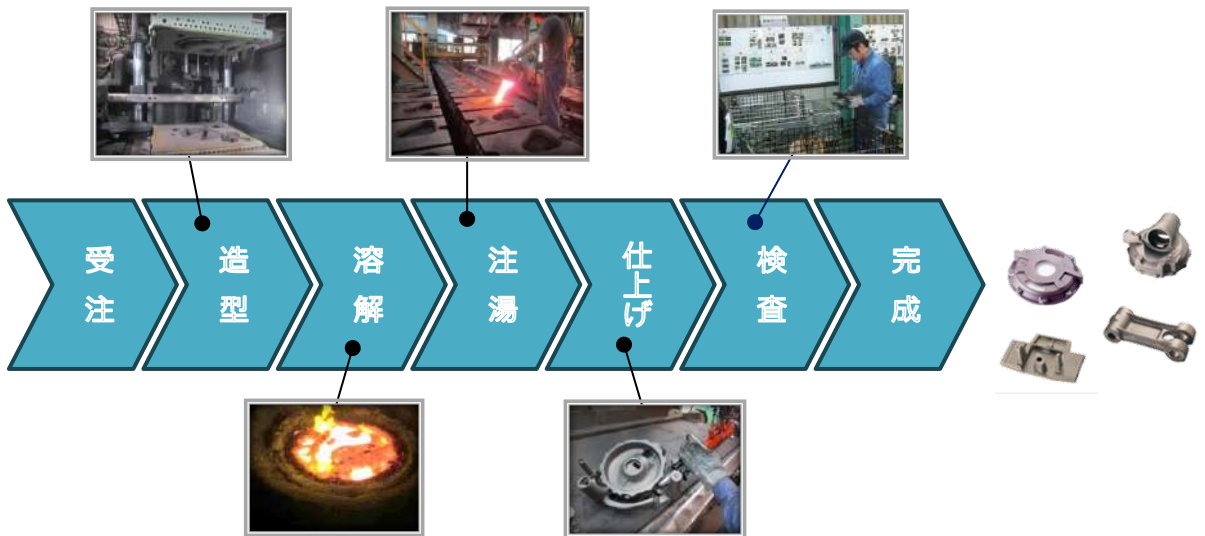
当社の製品は、過酷な環境で使用される各種機械の鋳造パーツで、精密さと共に耐久性・堅牢性が求められます。先進の鋳造テクノロジーと優れた生産システムを活かし高品質な製品をお届けしています。

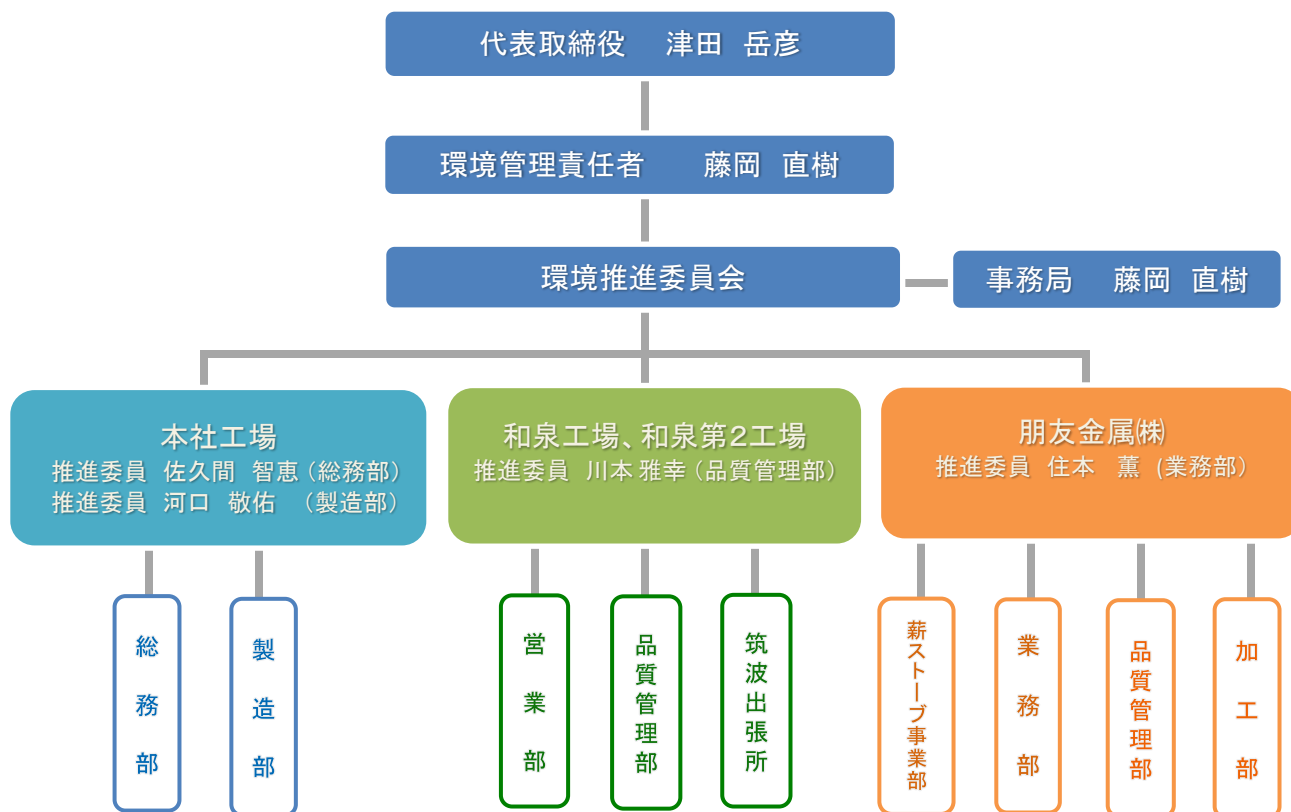
FBOX-IIライン



当社の生産ラインは、簡易型、木型を問わず生産が可能で型交換が容易なため、多品種ロット生産にも迅速に対応します。微妙な元素の配合や鋳造・冷却温度の設定を可能にするなど、徹底した品質管理を行うことで、高品質な製品をお届けしています。

また、どの工程においても振動・騒音・粉塵・排水などの公害防止設備を設置し、工場をとり巻く周辺環境の安全性にも細心の注意をはらっています。





	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する最高責任者 環境管理責任者の任命 環境経営方針の策定、全従業員へ周知 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 環境推進委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・実施・管理 「環境関連法規等の取りまとめ表」を承認 環境経営目標・活動計画書・環境経営レポートの確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境推進委員	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成及び遵守評価の実施 環境経営目標・活動計画書の作成 活動実績集計 外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施 環境経営方針の周知 活動計画の実施及び達成状況の報告 緊急事態への対応のためのテスト・訓練・記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 決められたことを守り、部門長の支持に従い取組を実行する 自主的・積極的に環境活動へ参加

環境目標項目	対象区分別		前年度	2022年度(4~3月)				次年度目標	2022年実績を基準とした中期目	
			2021年度	目標	実績	達成率	前年比	2023年度	2027年度	
規模	本社工場	生産量(t)	1,667	----	1,666	--	100%	----	----	
		従業員	20 人	----	20 人	--	----	----	----	
	和泉工場	販売量(t)	9,435	----	8,312	--	88%	----	----	
		取扱量(t)	5,784	----	5,523	95%	95%	----	----	
	和泉第2	従業員	15 人	----	14 人	--	----	----	----	
		従業員	0 人	----	0 人	--	----	----	----	
	筑波	取扱量(t)	2,780	----	2,212	80%	80%	----	----	
		従業員	3 人	----	2 人	--	----	----	----	
	朋友金属	業務加工	取扱高(t)	7,932	----	7,023	--	89%	----	----
				945	----	851	--	90%	----	----
従業員		40 人	----	43 人	--	----	----	----		
二酸化炭素排出量 (kg-CO2) 排出係数*	本社	総量	1,357,959	1,344,379	1,369,948	98% ×	0.9% 増加	868,455	833,366	
		原単位	814.6 / t	806.5 / t	822.3 / t	98% ×	0.9% 増加	521.3 / t	500.2 / t	
	和泉工場	総量	30,726	30,419	34,595	88% ×	12.6% 増加	24,468	23,479	
		原単位	3.26 / t	3.22 / t	4.16 / t	77% ×	27.7% 増加	4.43 / t	4.25 / t	
	和泉第2	総量			7,093			5,335	5,119	
		原単位			1.28 / t			0.97 / t	0.93 / t	
	筑波	総量			4,211			4,169	4,000	
		原単位			1.90 / t			1.88 / t	1.81 / t	
	総量計				45,899					
	朋友金属**	朋友	総量	205,121	203,069	243,650	83% ×	18.8% 増加	107,681 ***	103,330 ***
原単位	22.87 / t		22.65 / t	30.35 / t	75% ×	32.7% 増加	14.07 / t	13.50 / t		
0.493	総量計		1,593,806		1,659,497		4.1% 増加			
0.457	太陽光発電による排出軽減量		24,036		31,379			↑★排出係数を0.311に見直し		
エネルギー使用量の削減	本社	総量	2,680,304	2,653,501	2,707,261	98% ×	1.0% 増加	2,680,188	2,571,898	
		原単位	1,608 / t	1,592 / t	1,625 / t	98% ×	1.1% 増加	1,609 / t	1,544 / t	
	和泉工場	総量	41,778	41,360	54,284	76% ×	29.9% 増加	53,741	51,570	
		原単位	4.43 / t	4.38 / t	6.53 / t	67% ×	47.4% 増加	9.73 / t	9.34 / t	
	和泉第2	総量			9,363	←2022年7~3月の使用量		データ取得期間		
		原単位			1.70 / t					
	筑波	総量			9,214			9,122	8,753	
		原単位			4.17 / t			4.13 / t	3.96 / t	
	朋友金属	業務	総量	9,104	9,013	9,459	95% ×	3.9% 増加	9,364	8,986
			原単位	1.15 / t	1.14 / t	1.35 / t	84% ×	17.3% 増加	削減目標を原単位から総量に変更	
加工		総量	372,113	368,392	449,297	82% ×	20.7% 増加	260,581 ***	250,052 ***	
		原単位	388.0 / t	384.1 / t	446.7 / t	86% ×	15.1% 増加	413.3 / t	396.6 / t	
総量計		3,100,905 kWh		3,238,878 kWh		4.4% 増加				
太陽光発電量	本社 和泉		48,753 kWh		63,650 kWh					
ガリン (L)	本社 (*1)		-	-	-	-	-	-	-	
	和泉工場	総量	509	504	537	94% ×	5.4% 増加	531	510	
		原単位	0.054 / t	0.053 / t	0.065 / t	82% ×	19.6% 増加	0.064 / t	0.061 / t	
	朋友	総量	2,974	2,944	3,689	80% ×	24.0% 増加	3,652	3,505	
		原単位	0.335 / t	0.331 / t	0.468 / t	71% ×	40.0% 増加	0.464 / t	0.445 / t	
総量計		3,483 L		4,225 L		21.3% 増加				

*購入電力CO2排出係数：0.493kg-CO2/kWh(2016年度関西電力㈱調整後排出係数-2017年度の温室効果ガスを算出する際に用いる係数)

**朋友金属は、調整後排出係数は関西電力㈱と2016年度㈱F-Power(0.467kg-CO2/kWh)となる

***朋友金属第二工場は2023.3.31に閉鎖した為、2023年度以降の目標には第二工場を除いたデータで設定している

環境目標項目	対象区分別		前年度	2022年度(4~3月)				次年度目標	2022年実績を基準とした中期目	
			2021年度	目標	実績	達成率	前年比	2023年度	2027年度	
エネルギー削減 使用量 (L)	本社(*1)	総量	-	-	-	-	-	-	-	
		原単位	-	-	-	-	-	-	-	
	和泉/和泉第2	総量	1,866.4	1,848	1,860	99% ×	-0.3% 削減	1,842	1,767	
		原単位	0.200 /t	0.196	0.224	88% ×	12% 増加	0.222 /t	0.213 /t	
	朋友	総量	3,425	3,390	3,635	93% ×	6.1% 増加	3,599	3,454	
原単位		0.385 /t	0.381 /t	0.462 /t	83% ×	19.9% 増加	0.457 /t	0.439 /t		
総量計		5,291 L		5,496 L		3.9% 増加				
産業廃棄物排出量の削減 (トン)	本社 鉦さい	総量	593.6	588.0	600.2	98% ×	1.1% 増加	594.2	570.2	
		原単位	0.356 /t	0.353 /t	0.360 /t	98% ×	1.1% 増加	0.356 /t	0.342 /t	
	和泉 木くず	総量	105.4	104.3	100.0	104% ○	-5.1% 削減	99.0	95.0	
		原単位	0.0182 /t	0.0180 /t	0.0181 /t	99% ×	-0.7% 削減	0.0179 /t	0.0172 /t	
	筑波 木くず	総量	25.5	経過観察中	22.0		-13.6% 削減	21.8	20.9	
		原単位	0.0920 /t	次年度より目標設定	0.00100 /t		-98.9% 削減	0.00099 /t	0.00095 /t	
朋友 廃アラ	総量	33.93	33.59 t	40.25 t	83% ×	18.6% 増加	39.85 t	38.24 t		
	原単位	0.00382	0.00378 /t	0.00511 /t	74% ×	33.7% 増加	0.00506 /t	0.00486 /t		
総量計		700 t		700 t		0.0% 増加		658		
水使用量の削減 (m)	本社	総量	2,778	2,750	3,357	82% ×	20.8% 増加	3,323	3,189	
		原単位	1.666 /t	1.650 /t	2.015 /t	82% ×	20.9% 増加	1.995 /t	1.914 /t	
	和泉	総量	181.0		222.0	-	22.7% 増加			
		1人当り	1.006 /人	1.000 /人	1.200 /人	83% ×	19.3% 増加	1.000 /人	1.000 /人	
	朋友 (生活用水使用量)	総量	651.1	651.1	738.0	88% ×	13.4% 増加	525.0 ***	525.0 ***	
		1人当り	1.388 /人	1.388 /人	1.468 /人	95% ×	5.8% 増加	1.214 /人	1.214 /人	
(加工部)	総量	68.0	68.0	55.7	122% ○	-18.1% 削減	55.7	55.7		
総量計		3,678 m		4,373 m		18.9% 増加		3,468		
化学物質使用量の削減 (L/kg)	本社	ヘキサフルオロトロン(L)	総量	15.12	15.00	15.12	99% ×	0.0%	15.0	14.36
		原単位	0.00907	0.0090	0.0091 /t	99% ×	0.1% 増加	0.0090 /t	0.0086 /t	
	本社	硝酸ナトリウム(kg)	総量	240.0	237.60	228.0	104% ○	-5.0% 削減	225.7	216.60
		原単位	0.1440	0.143	0.137 /t	104% ○	-4.9% 削減	0.135 /t	0.130 /t	
	和泉(*2)	マンガン	3,900.0 kg		4,563.5 kg					
		トリブチルアン化合物			84.0 kg					
		ホウ酸	64.0 kg		60.0 kg					
				微量の為、使用量の経過観察を行う						
	朋友	エチルベンゼン(L)	総量	10.174	10.073	10.463	96% ×	2.8% 増加	10.359	9.940
			原単位	0.00115 /t	0.00113 /t	0.00133 /t	85% ×	15.9% 増加	0.001316 /t	0.001262 /t
キシレン(L)		総量	16.344	16.180	15.563	104% ○	-4.8% 削減	15.407	14.784	
		原単位	0.0018 /t	0.00182 /t	0.00198 /t	92% ×	7.3% 増加	0.00196 /t	0.00188 /t	
トルエン(L)	総量	34.887	34.538	31.138	111% ○	-10.7% 削減	30.827	29.581		
	原単位	0.00393	0.00389 /t	0.00395 /t	98% ×	0.6% 増加	0.00391 /t	0.00376 /t		
環境に配慮した生産・活動の推進	本社	不良率%	7.3%	7.0%	8.8%	80% ×	1.8% 増加	7.0%	6.0%	
		海外品不良率%	1.1%	1.09%	1.92%	57% ×	0.8% 増加	1.90%	1.82%	
	朋友	不良返品率	2.21%	2.19%	2.71%	81% ×	0.5% 増加	2.68%	2.57%	
環境意識の向上	本社	環境教育	6 回	6 回	6 回	100% ○		6 回	6 回	
		和泉	環境教育	6 回	6 回	6 回	100% ○		6 回	6 回
	朋友	環境教育	4 回	6 回	4 回	67% ×		6 回	6 回	

各サイトの使用燃料の内、灯油・LNG・LPGの各使用量は、季節要因もあり量的にも僅少で、当面環境目標としての扱いはしないこととした。又、本社のガソリン及び軽油についても当面、環境目標としての扱いはしない。(※1)

和泉工場の化学物質使用量については、微量の為、環境目標としての扱いはしない。(※2)

電気使用量削減

貢献するSDGs

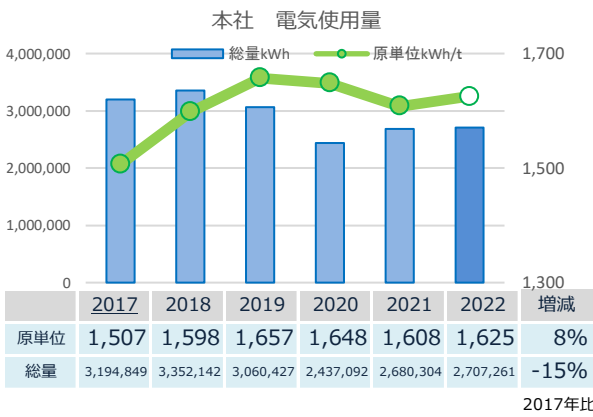


■ 本 社 電気使用量削減 目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

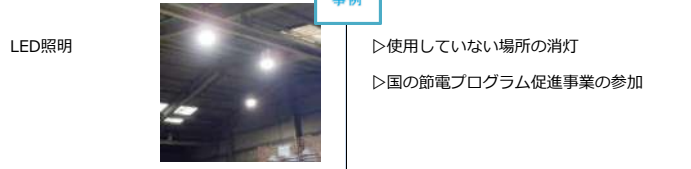
1. 不要な照明を消す・空調の適正管理
2. メンテナンスの強化
3. 工場機械用品の作業効率化

電気	目標	実績	評価
原単位	1,592 kWh/t 太陽光発電：排出軽減量差引	1,625 kWh/t 1,587 kWh/t	×
総量	2,653,501 kWh 太陽光発電：排出軽減量差引	2,707,261 kWh 2,643,611 kWh	×

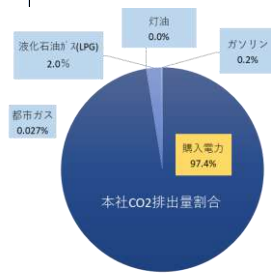
電力使用量、原単位共に未達成でした。太陽光発電量を差し引くと原単位で達成でした。



取組事例



▶CO2排出量に起因するエネルギー源の割合
電力 97.4%



▶消費電力の大きい設備



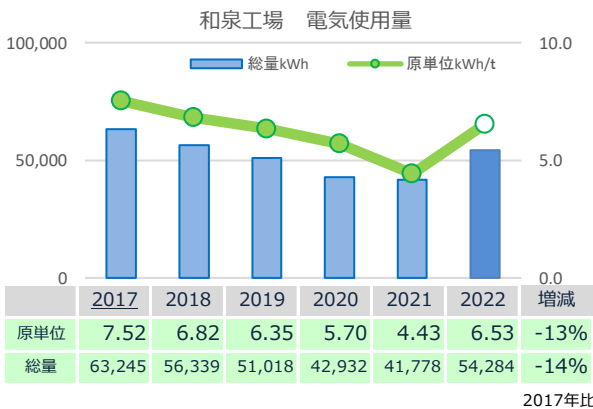
高周波誘導炉

■ 和泉工場 電気使用量削減 目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

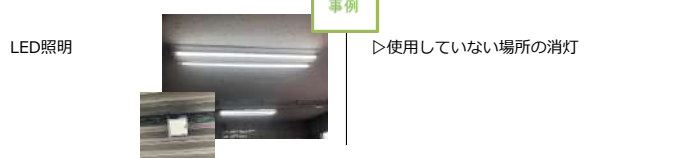
1. 不要な照明を消す
2. ショットブラストの時間短縮

電気	目標	実績	評価
原単位	4.38 kWh/t	6.53 kWh/t	×
総量	41,360 kWh	54,284 kWh	×

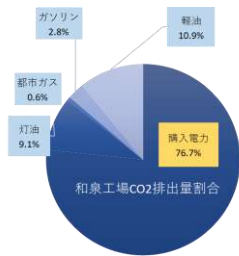
検査倉庫にクーラー3台設置。使用量が大幅に増加しました。原単位算出方法を総出荷量より、和泉工場のみ出荷量から算出に変更。基準の2017年と比較すると原単位も総量も10%以上の削減となっています。



取組事例



▶CO2排出量に起因するエネルギー源の割合
電力 76.7%



▶消費電力の大きい設備



ショット機

電動式移動倉庫



エアコン 3台
電気使用量は増えましたが、作業環境は改善されました。

電気使用量削減

貢献するSDGs



■ 朋友金属

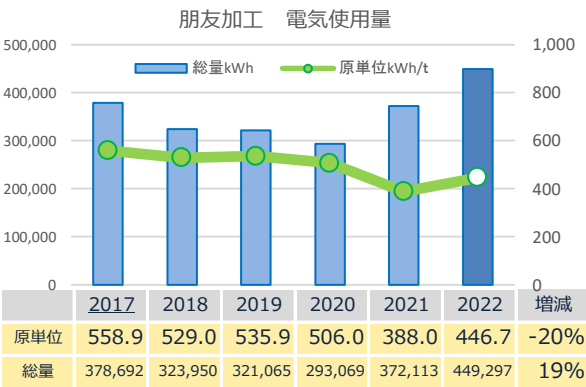
電気使用量削減

目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

1. 不要な照明、電気機器の電源OFF
2. 効率の良い生産計画

電気	目標	実績	評価
原単位	384.1 kWh/t	446.7 kWh/t	×
総量	368,392 kWh	449,297 kWh	×

電気使用量が増加し、原単位でも目標達成できませんでした。5年前と比較して原単位では削減できていますが、総量は19%の増加となっています。

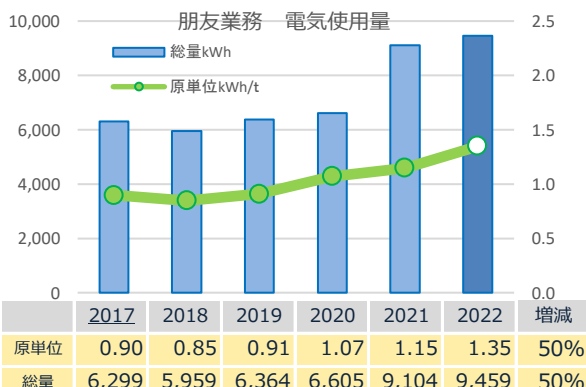


業務(事務所、出張所)

1. 不要な照明、電気機器の電源OFF
2. 空調の温度設定(夏：28℃、冬20℃)

電気	目標	実績	評価
原単位	1.14 kWh/t	1.35 kWh/t	×
総量	9,013 kWh	9,459 kWh	×

加工部同様に電気使用量が増加し、原単位で目標も達成できませんでした。事務所は原単位のベースである取引量との相関関係がほとんど見られないことから、次年度は削減目標を総量とし取り組みます。



今後の電気使用量削減の対策案

コンプレッサへの省エネ・CO2削減対策

吐出圧の管理

吸気温度の低温化 (コンプレッサの吸気温度が下がると、空気密度が上がる為多くの空気を処理することができます。)

空調への対策

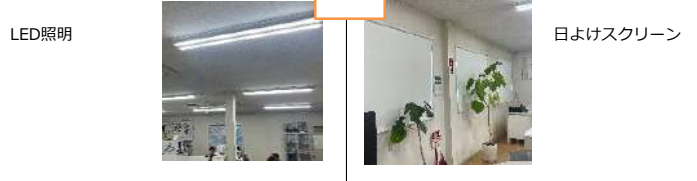
人の手による運用改善

こまめなフィルターの清掃 (冷房時で約4%、暖房時で約6%の省エネ)

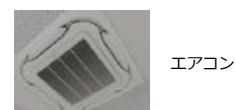
室外機の温度環境や障害物の見直し (夏は直射日光に当たらないようにする)



▶消費電力の大きい設備

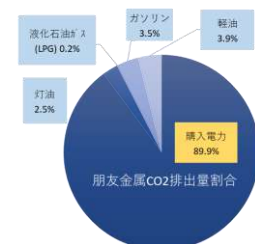


▶消費電力の大きい設備



▶CO2排出量に起因するエネルギー源の割合

電力 89.9%



ガソリン使用量削減

貢献するSDG s



■ 和泉工場

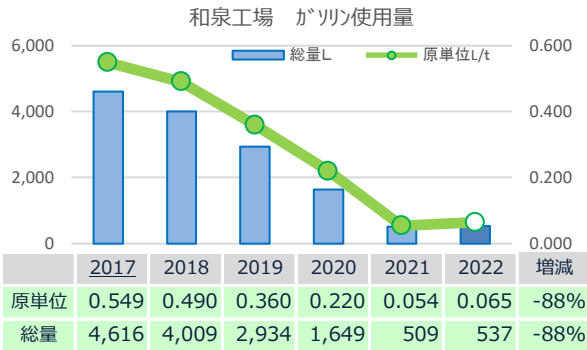
ガソリン使用量削減

目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

- 1.アイドリングストップ
- 2.適正速度の実施

ガソリン	目標	実績	評価
原単位	0.053 L/t	0.065 L/t	×
総量	504 L	537 L	×

使用量が給油1回分ほど増加しました。



2017年比

取組事例

ハイブリッドカー



■ 朋友金属

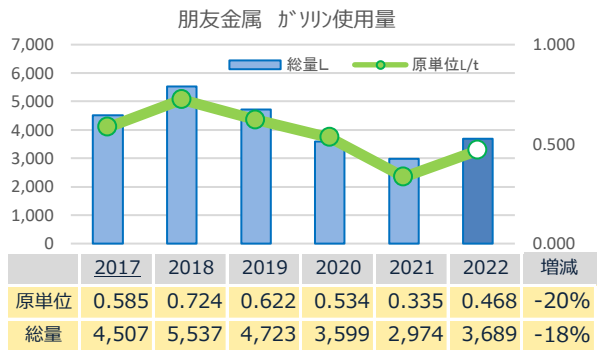
ガソリン使用量削減

目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

- 1.効率的な運転
- 2.アイドリングストップ
- 3.迅速な不具合対策

ガソリン	目標	実績	評価
原単位	0.331 L/t	0.468 L/t	×
総量	2,944 L	3,689 L	×

ガソリン使用量が増加し、原単位でも目標未達成となりました。



2017年比

バッテリー式フォークリフト



"トコドライブ"のすすめによる啓発



軽油使用量削減

貢献するSDG s



■ 和泉工場・和泉第2工場

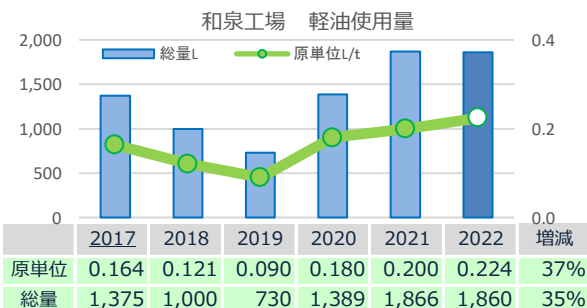
軽油使用量削減

目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

- 1.アイドリングストップ
- 2.適正速度の実施

軽油	目標	実績	評価
原単位	0.196 L/t	0.224 L/t	×
総量	1,848 L	1,860 L	×

昨年度より使用量は、6ℓだけ増加しました。内訳は、社用車が174ℓ増加、リフトが180ℓ減少しました。



2017年比

取組事例

バッテリー式フォークリフト



1.5tトラック

積載量を増やすためにキャブから乗り換えました



効率的な運搬

可能な限り製品を積載して運搬の回数を減らすようにしています。



■ 朋友金属

軽油使用量削減

目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

- 1.効率的な運転
- 2.アイドリングストップ

軽油	目標	実績	評価
原単位	0.381 L/t	0.462 L/t	×
総量	3,390 L	3,635 L	×

自社での運搬が増え、使用量が増加し、原単位でも目標未達成となりました。



2017年比

廃棄物排出量削減

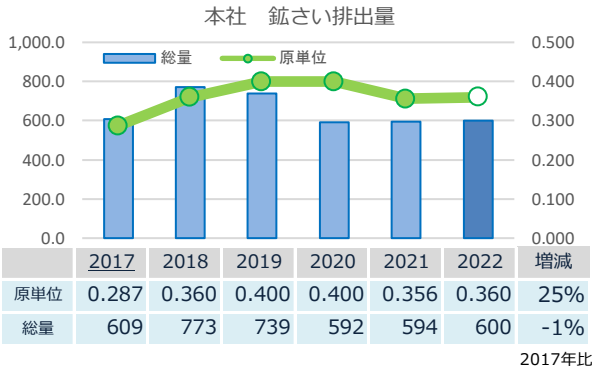
貢献するSDGs



■ 本 社 廃棄物排出量削減 目標：鉍さい 2021年度実績の1%削減(原単位)

1. シェル砂の無駄を省く 2. フィルターの清掃

鉍さい	目標	実績	評価
原単位	0.353 t/t	0.360 t/t	×
総量	588.0 t	600.2 t	×



産業廃棄物排出量、原単位共に未達成でした。

取組事例

中子不良を減らすように努めています

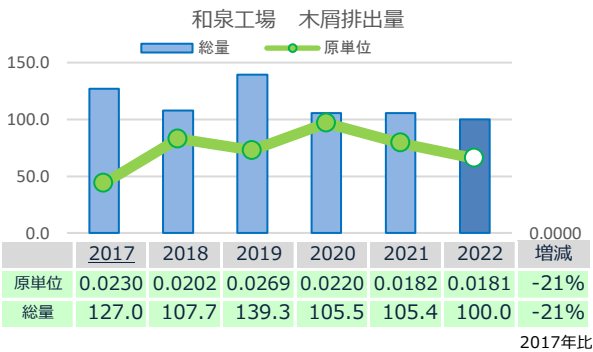
鉍さいは鋳物製造の工程で発生する廃棄物で、すべて再資源化されています。

鉍さい	2021年度	2022年度
再生利用 (中子砂)	132.8t	151.9t
再生利用 (路盤材)	460.8t	448.3t
廃棄物 (埋立)	0.0t	0.0t
計：鉍さい 発生量	593.6t	600.2t

■ 和泉工場 廃棄物排出量削減 目標：木くず 2021年度実績の1%削減(原単位)

1. 網スキット(パレテーナ)への移行

木くず	目標	実績	評価
原単位	0.0180 t/t	0.0181 t/t	×
総量	104.3 t	100.0 t	○



排出量で目標達成。原単位では目標値に少し届きませんでした。前年度比では削減できています。

取組事例

木箱からパレテーナへ

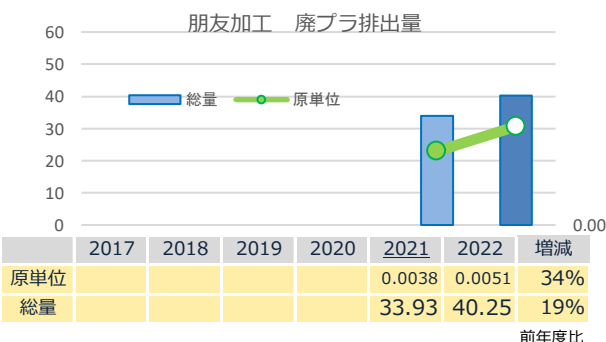
パレテーナ

輸入梱包に使用されたパレテーナを中国に返送しリユース

■ 朋友金属 廃棄物排出量削減 目標：廃プラ 2021年度実績の1%削減(原単位)

1. リユース 2. リサイクル

廃プラ	目標	実績	評価
原単位	0.00378 t/t	0.00511 t/t	×
総量	33.59 t	40.25 t	×



前年度より大幅に増加してしまいました。排出量削減の具体策を模索中です。

取組事例

パレテーナのサイズに合わせた袋の使い分け

出来る限りリユースし、破れたもの、錆びを発生させる汚れが付着した袋のみを廃棄

水使用量削減

貢献するSDGs



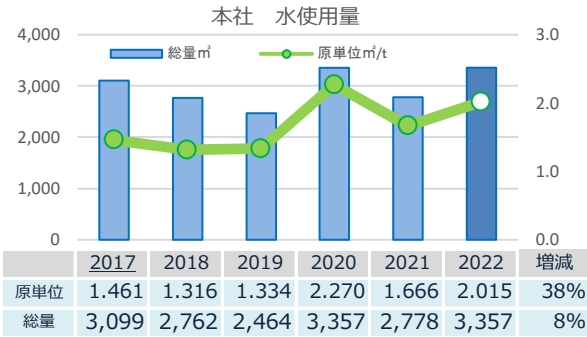
■ 本 社 水使用量削減 目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

1. 節水の呼びかけ

水	目標	実績	評価
原単位	1.650 m ³ /t	2.015 m ³ /t	×
総量	2,750 m ³	3,357 m ³	×

水の使用量、原単位共に未達成でした。

6月にクーリングタワーのフロースイッチが破損、その他トラブルにより未達成でした。



2017年比

▶水使用量が多い設備

クーリングタワー



取組事例

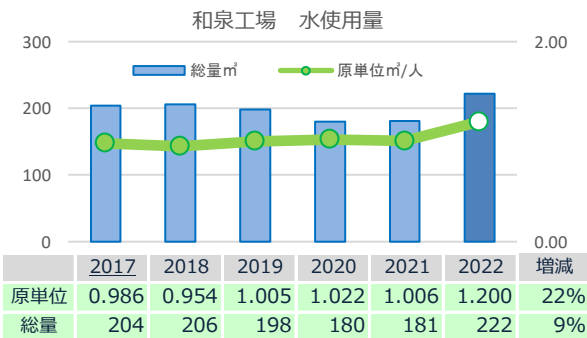
クーリングタワーは、水が蒸発する際に熱を奪う気化熱の原理を利用した冷却装置です。この原理を使って冷やした冷却水を円滑に循環させる必要があります。そのために補給すべき水量を把握し、運用できるよう取り組んでいます。

■ 和泉工場 水使用量削減 目標：現状維持に努める(原単位)

1. 節水の呼びかけ

水	目標	実績	評価
1人当たり	1.000 m ³ /人	1.200 m ³ /人	×
総量	181 m ³	222 m ³	

使用量が増加しました。作業着を洗うための洗濯機を設置した事が要因のひとつです。



2017年比

▶水使用量が多い設備

洗濯機



取組事例

節水の呼びかけ

啓発*スター

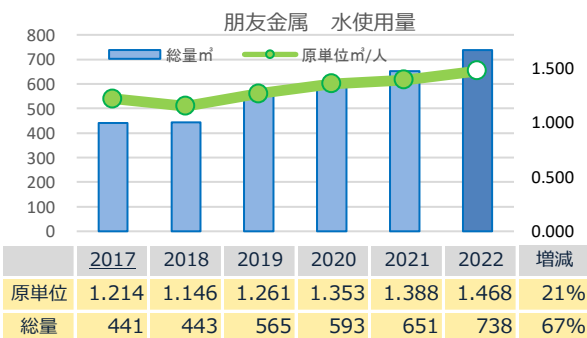


■ 朋友金属 水使用量削減 目標：2021年度実績値を維持する(原単位)

1. 節水の呼びかけ

水	目標	実績	評価
原単位	1.388 m ³ /人	1.468 m ³ /人	×
総量	651.1 m ³	738.0 m ³	×

前年度と比べて生活用水の使用量が約87m³増加し、未達成となりました。



2017年比

▶水使用量が多い設備

洗濯機2台



取組事例

オートストップ蛇口

節水の呼びかけ

水出しっ放し防止



ホ*スター



化学物質使用量削減

貢献するSDGs

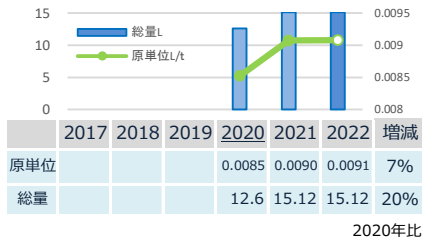


■ 本 社 化学物質使用量削減 目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

1.使用量の削減 2.使用量の徹底管理
ヘキサメチレンテトラミン

	目標	実績	評価
原単位	0.0090 L/t	0.0091 L/t	×
総量	15.00 L	15.12 L	×

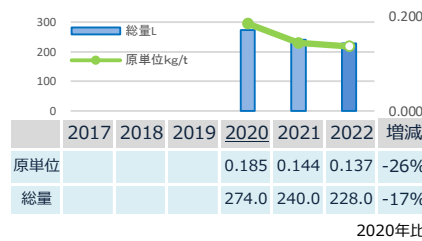
わずかに未達成でした。



ホウ酸ナトリウム

	目標	実績	評価
原単位	0.143 kg/t	0.137 kg/t	○
総量	237.6 kg	228.0 kg	○

達成できました。



ヘキサメチレンテトラミンを含む製品

- ・ハードコート2E
(用途) 造型時の溶湯による荒らされ(錆肌不良)を防ぐために鑄型の表面に塗布

ホウ酸ナトリウムを含む製品

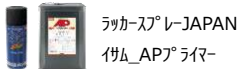
- ・パッチング材HA17パッチ改Y
(用途) 処理鍋作成時に使用

■ 朋友金属 化学物質使用量削減 目標：2021年度実績の1%削減(原単位)

1.使用量の削減 2.使用量の徹底管理
エチルベンゼン

	目標	実績	評価
原単位	0.00113 L/t	0.00133 L/t	×
総量	10.07 L	10.46 L	×

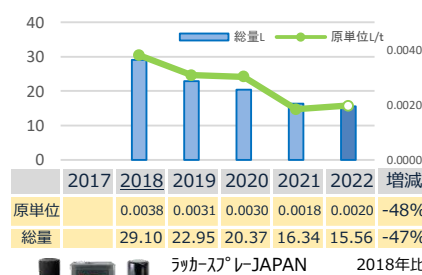
使用量、原単位ともに未達成となりました。



キシレン

	目標	実績	評価
原単位	0.00182 L/t	0.00198 L/t	×
総量	16.18 L	15.56 L	○

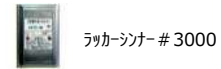
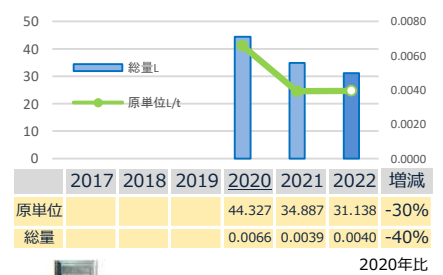
原単位目標は未達成でしたが、前年度比では削減できています。



トルエン

	目標	実績	評価
原単位	0.00389 L/t	0.00395 L/t	×
総量	34.54 L	31.14 L	○

原単位目標は未達成でしたが、前年度比では削減できています。



環境に配慮した生産・活動の推進

貢献するSDGs

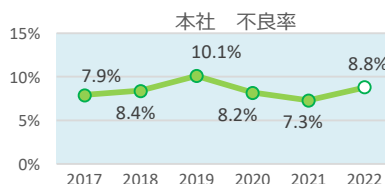


■ 本 社 不良率 ISO品質目標と同一

1.不良率の低減 2.原因説明・改善

	目標	実績	評価
不良率	7.0%	8.8%	×

不良率、未達成でした。

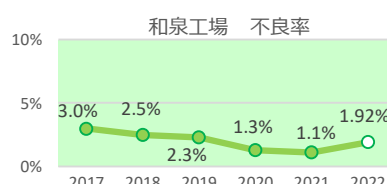


■ 和泉工場 不良率 2021年度実績の1%低減

1.不良上位3の対策を図る

	目標	実績	評価
不良率	1.09%	1.92%	×

海外品の不良が増加しました。

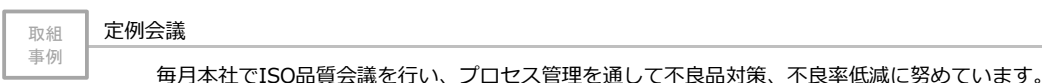
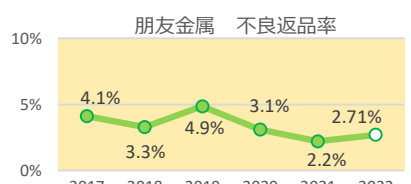


■ 朋友金属 不良返品率 2021年度実績の1%低減

1.不良内容のフィードバックと対策フォロー

	目標	実績	評価
返品率	2.19%	2.71%	×

何点かの製品の不良対策が長引いて不良率が上がってしまい、目標未達成となりました。



緑化活動による生物多様性への貢献

貢献するSDGs



生物多様性の保全の為に緑化活動に取り組んでいます。

緑化スペースの維持に努めました。



環境関連法規等の遵守状況

法規制等	評価	評価方法又は対策内容	対象
廃棄物処理法	遵守	大阪府報告 マニフェスト管理	本社、和泉工場、朋友金属
水質汚濁防止法	遵守	協同組合内処置 30m ³ /日 厳守	本社
大気汚染防止法	遵守	高石市ばいじん数値報告 集塵機設置	本社
消防法	遵守	市町村 1回/3年 点検実施報告書	本社、和泉工場、朋友金属
70 ⁰ 排出抑制法	遵守	簡易外観点検 1回/3ヶ月	本社、和泉工場、朋友金属
粉塵障害防止及びじん肺法施行規則	遵守	労働基準監督署報告 1回/3年	本社
労働安全衛生法	遵守	リカバメントの実施 1回/1年	本社、和泉工場、朋友金属
〃	遵守	健康診断	本社、和泉工場、朋友金属
騒音規制法	遵守	特定施設設置届出	朋友金属
振動規制法	遵守	特定施設設置届出	朋友金属
浄化槽法	遵守	1回/1年 定期検査、清掃1回/3ヶ月	朋友金属

環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。


代表取締役 津田岳彦

SDGs活動




3 全ての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する


・熱中症対策
[検査場エアコン設置]




・受動喫煙対策
[屋外喫煙場]




・労働環境改善
[エアバラン導入]



・熱中症対策
[ファン付ベスト支給]



・健康宣言



社員の検診受診率100%
受診勧奨の取組
保険指導の受診率35%
女性の健康保持・
増進に向けた取組
社員の感染症予防
受動喫煙対策

4 質の高い教育をみんなに
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する


・環境教育 ・資格手当制度

5 ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

8 働きがいも経済成長も
すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する

10 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の不平等を是正する


ハラスメント防止対策



SDGs推進私募債

株式会社りそな銀行のご支援により、SDGs推進私募債を発行しました。発行額の0.1%相当額を、株式会社りそな銀行を通してSDGs関連団体に寄付させて頂きました。

持続可能な環境や社会の実現を目指し、当社は社会貢献とSDGsに関する様々な取り組みを行っております。



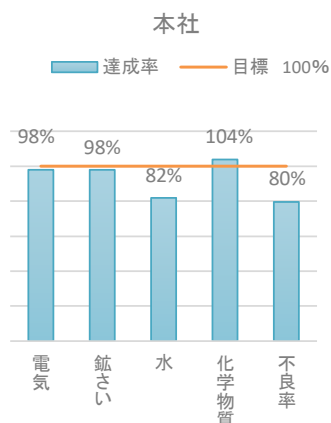
・和泉テクノFCサポーターズクラブ プラチナ会員
地域貢献の一環として、地域のスポーツクラブの活動等をサポートしています。

次年度の取組内容

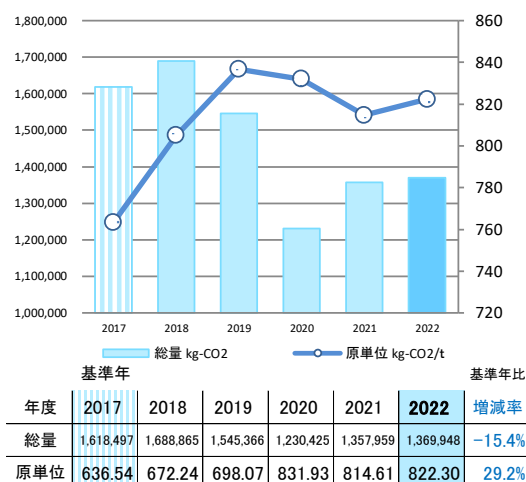
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		次年度目標：2022年度実績に対し1%減
本社 エネルギー使用量をサイト全体で共通して1%削減を目標に取組み、結果として同等量の排出減を目指す (2022年度のCO ₂ 排出量の算定係数を用いる 関西電力：0.311kg-CO ₂ /kWh)		
電気使用量 (kWh)		次年度目標：2022年度実績に対し1%減
本社	・工場機械用品の作業効率化及びメンテナンス強化・不要な照明を消す・空調の適温化・トラブル防止	
和泉工場、和泉第2、筑波	・不要な照明を消す・ショットブラストの時間短縮	
朋友金属加工	・効率のよい生産計画 ・不要な照明の電源OFF	
朋友金属業務	・空調の温度設定 ・不要な照明、電気機器の電源OFF	
ガソリン使用量 (L)		次年度目標：2022年度実績に対し1%減
本社	(特に定めず)	
和泉工場	・アイドリングストップ ・適正速度の実施	
朋友金属	・アイドリングストップ ・効率的な運転 ・迅速な不具合対策	
軽油使用量の削減		次年度目標：2022年度実績に対し1%減
本社	(特に定めず)	
和泉工場、和泉第2	・アイドリングストップ ・適正速度の実施	
朋友金属	・アイドリングストップ ・効率的な運送計画	
廃棄物排出量の削減		次年度目標：2022年度実績に対し1%減
本社	鉋さい ・フィルターの清掃 ・珪砂の無駄を省く	
和泉工場、筑波	木くず ・木箱から網スクットへの移行	
朋友金属	廃プラ ・リサイクル・リユース率を上げ排出量を抑制する	
水使用量の削減		(本社)次年度目標：2022年度実績に対し1%減 (和泉工場・朋友金属)次年度目標：2022年度実績を維持
本社	・節水のよびかけ ・クーリングタワーのメンテナンス	
和泉工場	・手洗い場、食堂、トイレ、洗濯場等での節水ポスターによる節水のよびかけ	
朋友金属	・手洗い場、食堂、トイレ、洗濯場等での節水ポスターによる節水のよびかけ	
化学物質使用量の削減		次年度目標：2022年度実績に対し1%減
本社	・取扱に注意し使用量を少量ですませるよう心掛ける、使用量の徹底管理	
和泉工場	・使用量の把握 ・注意をはらって取り扱う	
朋友金属	・取扱に注意し使用量を少量ですませるよう心掛ける、使用量の徹底管理	
環境に配慮した生産・活動の推進		(本社)次年度目標：ISO目標と同一にする(不良率7%) (和泉工場・朋友金属)次年度目標：2022年度実績に対し1%減
本社	・不良率の低減 ・上位3位の対策を図る	
和泉工場	・海外品の不良率の低減	
朋友金属	・不良内容のフィードバックと対策フォロー	
環境意識の向上		次年度目標：環境教育・環境活動の実施回数：年6回
本社 ・環境意識向上のため、環境教育を行う。		
緑化活動による生物多様性への貢献		
本社、和泉工場、朋友金属 ・緑化スペースの維持		
「プラスチック・スマート」キャンペーン参加・継続		
本社、和泉工場、朋友金属 ・「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加し、取り組む		

本 社

取組計画の数値の達成改善が難しくなっています。再度、無駄がないか細かいところまで、確認していくように努めます。



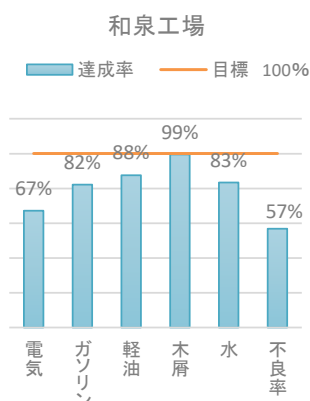
本社 CO2排出量推移



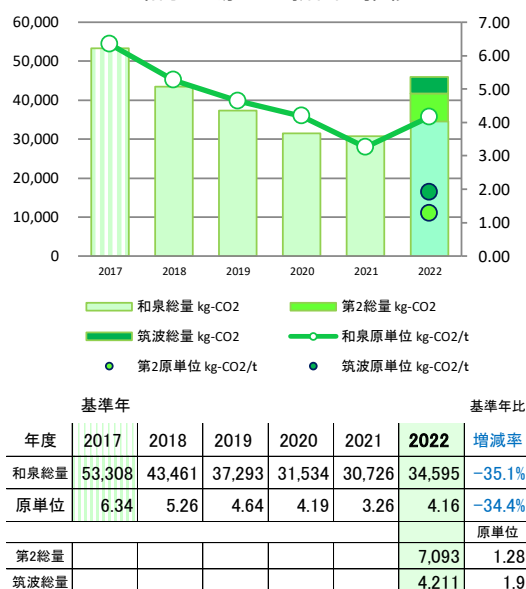
和泉工場

特に電力使用量が大幅に増加し、二酸化炭素の排出量が増加しました。電力使用量に関しては、和泉工場の検査倉庫にクーラー3台設置の影響もあり、目標達成が出来ませんでした。目標の見直しを行い、調整、確認に努めます。

また、和泉第2工場のCO2排出量は、2022年7月～3月の電気、軽油に伴うもので、2023年度はデータ取得期間とし、筑波工場は次年度より電力をエネルギー使用量の削減項目として取り組みます。

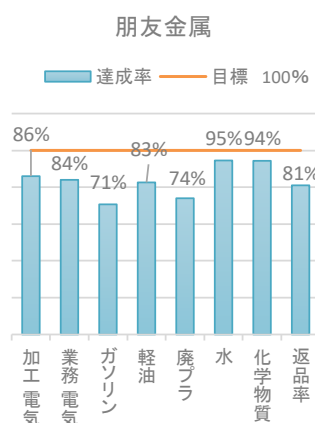


和泉工場 CO2排出量推移

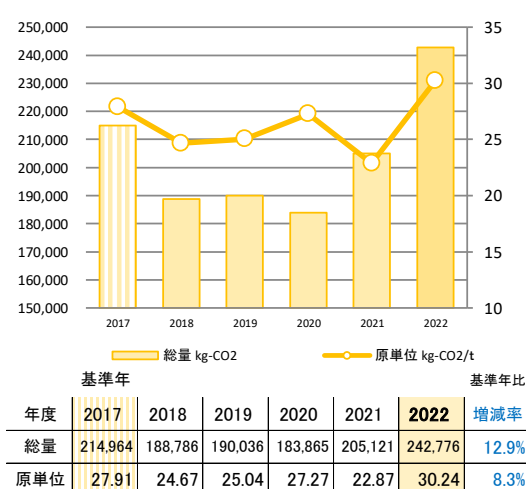


朋友金属

2022年度は取扱量が前年度の90%でありながら、ほぼすべての削減項目において使用量が増加してしまいました。従って原単位での目標はすべて未達成となり非常に残念な結果です。また、CO2排出量も過去5年で一番悪い数値です。目標未達成の原因を調査し、取り組みを見直して目標を達成できるよう努めます。



朋友金属 CO2排出量推移

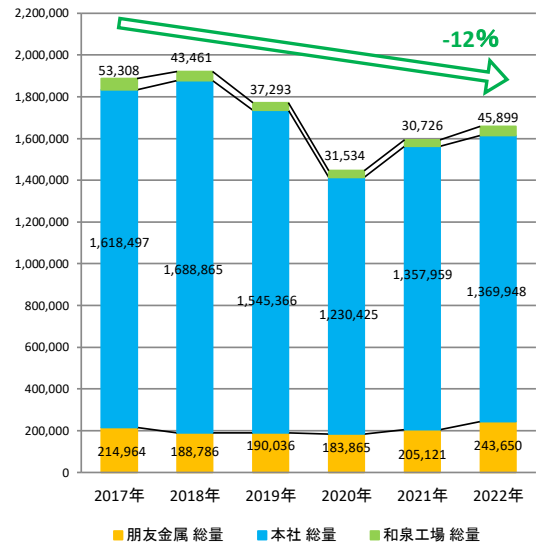


総合評価

実施日：2023年6月5日

2022年度は前年度に比べ、生産量・取扱量ともに少し減少しました。生産量が減少したにもかかわらず、ほぼ全ての削減項目において使用量・排出量が増え、原単位で目標達成したのは本社の化学物質のホウ酸ナトリウムのみとなりました。またCO2排出量増加の要因である電気使用量が増えたことにより、CO2排出量は3事業所の合計で前年度より4.1%増加しました。原単位でも前年度より増加し残念な結果となりました。目標未達成の原因を明確にし、より一層、取り組みを強化しなければなりません。一方で、2022年度は2017年を基準とする5年後にあたり、3事業所合計のCO2排出量は12%の削減となっています。順調とは言えないまでも、中期的に見て削減の結果であることから、取り組みの成果は出ていると考えられます。次年度は2022年度を基準に新たな中期目標を定め目標達成に向けて取り組みます。継続的な改善を図り、SDGsの観点から、環境保全のみならず社会課題の解決にも目を向け、持続可能な社会への貢献を目指します。

3事業所合計CO2排出量



<環境方針、目標の見直しについて>

	変更の必要性	代表者の指示
環境経営方針	有 ・ 無	現環境方針を維持する。
環境経営目標及び環境経営計画	有 ・ 無	2023年度の環境経営計画目標値は、原則として前年度実績の1%削減として取り組む。 朋友金属 業務(事務所)の電気使用量削減を原単位から総量の削減とする。
実施体制	有 ・ 無	現実施体制を維持する。